



MJかけはし

働きながら資格取得が目指せる 准看護学院の魅力

幅広い世代の人と共に学び、卒業後は地域医療の最前線で活躍



28年度志願者概況

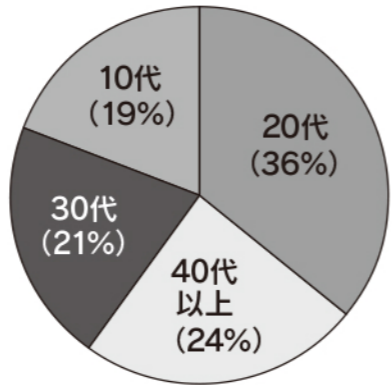
真壁医師会准看護学院は、平成27年5月に創立60周年を迎えました。この半世紀を超える歴史の中で、既に2165名の卒業生を送り出し多くの卒業生が地域医療の担い手として活躍しています。

当学院志願者を地域別にみると、当医師会管内である筑西市・下妻市・八千代町・桜川市出身者が多く、次いで隣接する結城市・古河市・常総市などの県西地域全般に及んでおり、つくば市・土浦市・笠間市・水戸市等、県南・県央地域からも少数ながらも毎年志願者がいます。更には県境に近い栃木県小山市、真岡市など、通学1時間圏内でアクセス可能な各地域に広がっています。

社会人経験者のキャリア

- ・医療関連施設でヘルパーとして従事していた人
 - ・介護・福祉系資格者が更にプラスワンの資格を求めて看護職資格を目指す人
 - ・保育園・幼稚園教諭等の異業種から資格取得を目指す人など
- 新たに資格者として医療分野での活躍を目指す、明確なモチベーションと旺盛なチャレンジ精神をもった方々が多く見受けられます。

平成28年度志願者の年代別占有率



少子化や不透明な経済状況の影響など、近年の社会の構造的問題も相俟って、20代・30代・40代の幅広い層の社会人経験者の増加傾向が顕著で、その占有率は81%と高くなっています。

卒業後の進路

(過去3ヶ年分)

資格取得後、数多くの先輩達が、地域医療の現場に携わっています。

【就職先】

- | | | |
|---|---|---|
| 石塚医院
上原病院
宇津野医院
大園病院
奥田クリニック
小張病院
小山すぎの木クリニック
介護老人福祉施設筑園苑
介護老人福祉施設豊浦
介護老人保健施設さくらがわ
介護老人保健施設サングリーンやさと
介護老人保健施設つむぎの郷
介護老人保健施設梨花苑
加倉井皮膚科クリニック | 加納内科胃腸科
軽部病院
木根瀬外科胃腸科病院
協和中央病院
小金井中央病院
湖南病院
斎藤眼科医院
猿島厚生病院
三岳荘小松崎病院
山王病院
下館胃腸科医院
下館病院
城西病院
青嵐荘療育園 | 総和中央病院
武井眼科医院
田崎内科医院
筑波記念病院
特別養護老人ホーム県西せいかん荘
とよさと病院
二宮中央クリニック
平林医院
平間病院
船橋レディースクリニック
星野病院
ホスピタル坂東
水海道西部病院 |
|---|---|---|

【進学先】

- | | | |
|-------------------------------------|--------------------|-----------------------|
| 茨城県
茨城県立中央看護専門学校
水戸市医師会看護専門学校 | 栃木県
栃木県立衛生福祉大学校 | 千葉県
千葉県立野田看護専門学校 |
| 東京都
成増高等看護学校 | 埼玉県
幸手看護専門学校 | 神奈川県
神奈川県立衛生看護専門学校 |

【入学相談・学院見学随時受付】

入試の事や学院ライブ・奨学金・就職など、お気軽にお問い合わせください。学院見学の希望の場合は、事前に電話にてご予約の上、お越しください。

真壁医師会准看護学院

〒308-0841 茨城県筑西市二木成 827-1
TEL. 0296-22-7702

医療機関に所属して学ぶ

入学者の多くは、当医師会管内の医療機関を始めとして、通学可能な範囲の病院等に所属し、給与収入の他、奨学金等の支援を得ながら、学んでいる生徒が多数を占めます。実際に、医療機関で働きながら学ぶ事ができる准看護学院のメリットを、多くの生徒が享受しているのが現状です。

更に、県や市町村等の各行政の定める各種修学資金(茨城県看護師等修学資金、栃木県看護職員修学資金、ひとり親家庭高等職業訓練給付金、高等学校等就学支援金)等があり、条件が合えば在学時の経済的負担を軽減策の一つとして、これらの制度を活用する事も可能です。

卒業後の進路は、所属する病院等へ就職する生徒が約7割、正看等の看護学校への進学者が約3割となっており、自身の将来像を見据えたそれぞれの進路選択をしています。

高齢化社会の進展する今、看護の道を選ぶこと

人間は加齢するにあたって様々なリスクが高まり、病気や怪我をしてしまった際には、医療施設で適切な治療を受けなければなりません。高齢者が増えればそれに比例して医療の

現場に携わる人達も増えなければなりません。しかし、現状で既に浮き彫りになっているのが医師や看護師の不足・偏在問題で、今後さらに高齢化社会が進むにつれて、この問題が顕在化することが予想されます。

現在、筑西市・桜川市に於いて平成30年秋完成を目指して新たに2つの病院建設計画が進行している中、この県西地域においても、今なお慢性的な看護職者不足が解消されておられません。

少子高齢化の進展する今、看護職者の活躍するフィールドが大きく広がっています。看護職者は、人に信頼され多くの方から期待される職業の一つであり、自分自身の人生を豊かにし、社会的にも評価を受けているやりのある仕事です。

当学院では、幅広い年齢層の皆さんが医療機関等に所属して働きながら学び、卒業後は地域医療の最前線で活躍しています。

是非とも当学院で学び、資格者としてのファーストステップを踏み出してください。





柴 典子
医療法人 恒貴会
協和中央病院 内科病棟勤務

あるときも同期の仲間と励ましあって続けられていました。今では視野を広く持てるようになり、心にも余裕を持つことができたことで、患者さんに対して「こうしたら喜んでくれるだろう」といった一歩進んだケアも出来るようになってきました。患者さんの笑顔と「ありがとう」の言葉が一番仕事のやりがいを感じ、これからも初心を忘れることなく患者さんの目線に立ったケアを続け、看護職を一生の仕事にしていきたいと考えています。

元々子どもの頃に看護師という職業に憧れていましたが、実家の都合で別の職業に進んでいました。介護士として現在の勤務先に勤めていた時、職場の同僚が当学院を受験することになり「一緒に受験しよう」と背中を押してくれたこともあり、受験を決めました。

社会人から生徒になり、勉強に対するプレッシャーがあったので勘を取り戻すのに苦戦しましたが、クラスメイトと一緒に乗り越えることが出来ました。私が入学した年は、30代の子育て世代のママさんも多くいて、授業のことでなく子育てや家庭のことなどプライベートな話も相談することができて、卒業まで皆ととても楽しく2年間を過ごすことが出来ました。働きながらの勉強時間の確保は、通勤時間や空き時間を利用して勉強内容の復習を行っていました。何より家族のサポートがあったからこそ、学院と職場の両立が出来たのだと思っています。

現在は患者さんの命を預かる現場で、責任感を持って日々仕事に取り組んでいます。配属当初は、初めてのことはばかりで実践で慣れるのに苦労したこともありましたが、勤務中にも教科書を読み返したり、先輩へ質問したりしながら現場に慣れていきました。辛いこと

社会福祉支援員として勤務していた時に「もっと色々なことに挑戦してみたい」との思いで看護職を志しました。すでに入学していた友人の薦めや家族の後押しもあり、当学院の受験を決意しました。

在学中は、30代・40代の方など幅広い年代、経験を持った方と一緒に学ぶことで、自分にはない考え方を共有でき、視野を広げることが出来たととても勉強になりました。働き始めた現在でも、職場の先輩方と仕事をする時や患者様やご家族様とのコミュニケーションの場で非常に役に立っています。

職場では長期で入院されている患者さんが多いのですが、少しずつでも良くなって頂きたいとの思いで、毎日の患者さんに寄り添った声かけ・ケアが大切だと考えています。患者様へご家族様の不安を取りのぞき、笑顔になっていただけた時にやって良かったと感じます。

現在勤務3年目になり患者さんにより良いケアを提供するために、より一層自分に厳しく日々の業務に取り組んでいます。一緒に働く看護師の方々は知識も経験も豊富です。私も医療の現場の進歩に対応していく為、自分



稲垣 恵里香
医療法人 鴻仁会 上の原病院 療養科勤務

看護職を通して自分を高め、チャレンジ&ステップアップを続けていきます。

同世代のママさんたちと支え合い取得した資格。看護を一生の仕事にしていきたいです。

地域医療の最前線で活躍している卒業生より

当学院は、半世紀以上の歴史の中で二千名を超える卒業生を輩出してきました。超高齢化社会が進化する現在、茨城県内はもとより、県西地域の慢性的看護職者不足がいっこうに解消されない中、当学院の卒業生が、県西地区の医療機関等において、地域医療の一翼を担い奮闘しています。



看護職者は、多くの方々から期待され信頼される職業であり、社会的にも評価を受けるやりがいのある仕事であることが、実際の医療現場で働く卒業生のコメントからもうかがい知ることができます。

看護職を目指す方へ

年齢や経験が様々な方と一緒に学ぶ2年間をぜひ経験して欲しいです。資格取得に向けての勉強だけでなく、非常に多くのことを学ぶことができます。入学すればスタートラインは一緒なので、どんな方でも心配せずに受験していただきたいと思ひます。

の知識レベルをもっと上げていけなければならぬと感じています。更なるスキルアップを目指して知識を深めていきたいと考えています。

看護職を目指す方へ

看護の仕事は、「人を好きになれる仕事」だと思っています。人と触れ合いたい、人に関わる仕事をしてみたい方におすすめです。看護職を通して自分自身も成長できると思ひますので、スキルアップしたい方もはじめの一歩を踏み出してください。

同じ目標に向かってお互いに刺激しあいながら、共に成長出来た学院生時代



田中 大策
医療法人 威恵会
三岳荘 小松崎病院 精神科勤務

元々はヘルパーとして介護職をしていましたが、一緒に働く看護師の方を見て、利用者さんの身のまわりのお世話だけでなく、自分も治療の面で携われるようになりたいと考え医療の分野を目指しました。

准看護師として働きたいという目標が明確にあったので、同じ所属のクラスメイト達と授業や勤務の後も一緒に勉強会をしてお互い協力しながら学ぶことが出来ました。同じ目的を持つ仲間と一緒にしっかり学んで皆で卒業したいという意識も生まれ、2年間を有意義に過ごすことが出来ました。

初は介護職のときと比べて、患者さんに対してできることが増えた分仕事を抱え込んでしまい、自分自身負担になってしまいう面もありました。数名のチームで働いているので自分がやるべきことと仲間任せのべき仕事の役割分担の大切さを学ぶことができました。



患者さんの立場に立ったケアが、患者さんからの信頼に繋がっています。

私が看護の道に進もうと考えたきっかけは、自分自身の病気を体験したことや子育てをしながらの生活で、一生の仕事として働ける仕事は何かと考えた時に、年齢を重ねても安定して働ける看護の道を選びました。

在学中は病院で看護助手として勤務しながら学校に通っていました。授業で勉強したことが、職場での仕事内容とも繋がって非常に勉強になることが多かったのです。また、働きながら通えるという点も、自分と家族の生活をしていく上でも収入の面でも非常に助かりました。授業以外の学院校生活の面では、看護学校ならではの厳しさを感じる場面もありましたが、学院での規則やルールも、看護の現場での勤務への心構えや患者さんへの接し方など、現在の仕事に繋がる大切なことを学んでこられたのだと感じています。

現在は整形外科外来に勤務し、来院される患者さんへの対応を行っています。痛みを抱



山口 有利子
医療法人社団 白峰会
湖南病院・とき田クリニック
整形外科外来勤務

看護職を目指す方へ

「自分は看護師に向いているか」という不安を持っている方もいらっしゃると思いますが、「やってみよう」と考えた時点で看護師に向いていると思ひます。迷っている方も一度見学をして学院の先生とお話ししてみてください。新しいことに挑戦することは自分を変える大きなチャンスになると思ひますので、是非チャレンジしていただきたいです。

看護職を目指す方へ
医療の現場では男性看護師も必要とされています。性別や年齢、前職には関係なく働ける点が良いところなので、是非看護の道へ進んでいただきたいです。

えて来院する患者さんに対しての声かけや配りなど、こちらから早めに対応できるようになりました。それが患者さんからの信頼に繋がりが、自分を頼ってくださいようになつてきたことがとても嬉しく、やりがいを感じています。現在の職場は子育て中のスタッフにも理解があり、私自身も子育てをしながらの勤務をしています。私自身も子育てをしながらの勤務をしていますが、とても助かっています。今後も患者さんの気持ちに寄り添った対応を心がけ、笑顔忘れずに働き続けたいと思ひます。